

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	基幹水利ストックマネジメント事業			事業コード	2001
所属コード	141000	課等名	農政課	係名	農村整備係
課長名	佐々木 和則	担当者名	佐藤 祐史	内線番号	6043
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産基盤の整備	コード	2
予算費目名	一般会計 6 款 1 項 5 目 農業基盤整備事業 (003-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰越 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	21 年度	
根拠法令等	基幹水利施設ストックマネジメント事業実施要綱及び要領			

### (2) 事務事業の概要

県営土地改良事業により造成された土地改良施設の長寿命化の観点に立って的確な予防保全を実施し、維持管理の削減を図る。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

県営圃場整備事業太田地区で造成された小排水路は経年劣化によりコンクリート柵渠が至る場所で崩壊・閉塞しており機能低下が生じている。また、排水が流れないだけでなく、降雨時に周辺地域に水害を起こしている。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 23 年度で計画区間の整備はすべて終了した。  
排水路の機能が回復したことにより、農業生産性の向上が図られる。

## 2 事務事業の実施状況 (Do) . . . . .

### (1) 対象 (誰が, 何が対象か)

小排水路

### (2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 小排水路全延長	m	110.5	531.3	214.8	201.3	—
B						
C						

### (3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ・ 振興局との協議
- ・ 水路改修工事

### (4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 小排水路全延長	m	110.5	531.3	214.8	201.3	—
B						
C						

### (5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

劣化した小排水路の機能を改善する。

### (6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 小排水路の改善済項目	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	m	110.5	531.3	214.8	201.3	—
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

C	<input type="checkbox"/> 上げる						
	<input type="checkbox"/> 下げる						
	<input type="checkbox"/> 維持						

### (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①	千円	708	2,825	1,250	1,250
	② 県	千円	0	0	0	0
	③ 地方債	千円	0	0	0	0
	④ 一般財源	千円	708	2,825	1,250	1,250
	⑤ その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	708	2,825	1,250	1,250
人件費	⑥ 延べ業務時間数	時間	18	24	24	24
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	72	96	96	96
計	トータルコスト A+B	千円	780	2,921	1,346	1,346
備考						

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

### (1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

#### ① 施策体系との整合性

施設を補修することにより、機能が改善され農業生産の向上が期待されることから施策の目的に結びついている。

#### ② 市の関与の妥当性

公共性の高い事業であり、市の関与は妥当である。

#### ③ 対象の妥当性

老朽化施設に限定しているため妥当である。

#### ④ 廃止・休止の影響

平成 23 年度で完了のため該当なし。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

平成 23 年度で完了のため該当なし。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

広域的に利用されている水路機能を維持するものでありあるため、公平、公正である。  
受益者の費用負担については、県が設置した水路であることから現状の費用負担で適正である。

(4) 効率性評価

人件費については打合せ等に要する時間であり削減はできない。  
事業費については県営事業であり、応分の負担が必要である。

#### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

(1) 改革改善の方向性

県営事業負担金のため該当なし。（平成 23 年度で事業完了）

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

県営事業負担金のため該当なし。（平成 23 年度で事業完了）

#### 5 課長意見 . . . . .

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

県営事業で施設の維持管理を実施してきた事業であるが、23 年度で終了したものである。